

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月07日

計画の名称	幸手市の衛生的・快適な暮らしの実現													
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	幸手市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		3,110	A	3,110	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27初期	H29末	H31末
1	事業計画面積1,012 h a の下水道整備達成率を31.6%（H27）から42.0%（H31）に増加させる。			
	下水道（汚水）整備達成率 整備面積累計（ha） / 事業計画面積(1,012ha)	32%	38%	42%
2	事業計画台数4台に対する污水ポンプ整備率を50%（H27）から100%（H31）に増加させる。			
	ポンプ施設能力 整備台数（台） / 事業計画台数（4台）	50%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

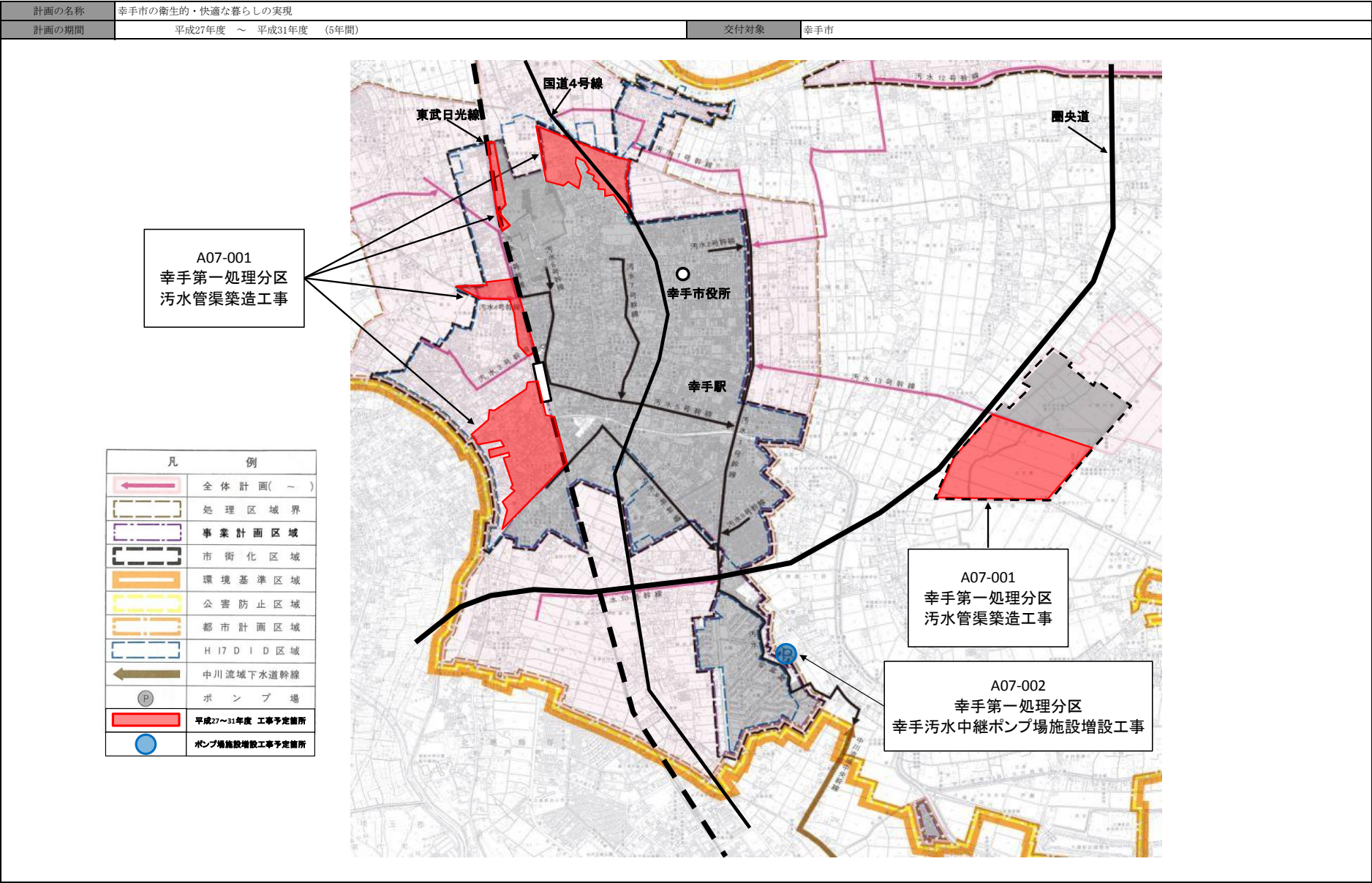
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	管渠（ 汚水）	新設	汚水管渠築造工事	管渠整備 L = 11,038m	幸手市	■	■	■	■	■	2,850		-	
	A07-002	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	ポンプ 場	新設	幸手汚水中継ポンプ場施 設増設工事	汚水ポンプ（8.4m3/min）×2 台	幸手市				■	■	260		-	
												小計						3,110		
											合計						3,110			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	247	55	91		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	247	55	91		
前年度からの繰越額 (d)	0	77	17		
支払済額 (e)	170	115	103		
翌年度繰越額 (f)	77	17	5		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 幸手市の衛生的・快適な暮らしの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 整備計画の目標と適合している	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 計画が実施される見込みが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 事業に係る住民説明を行っている。	○